

決算報告書

第1期

自 平成27(2015)年10月 1日
至 平成28(2016)年 3月31日

ACAS

一般社団法人新CAS協議会

収 支 計 算 書

2015年10月1日から2016年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
会費収入	32,000,000	32,000,000	0	
雑収入		1,151	△ 1,151	
事業活動収入計	32,000,000	32,001,151	△ 1,151	
事業活動支出				
事業費支出	12,000,000	11,435,415	564,585	
人件費支出	9,100,000	9,069,569	30,431	
事務費支出	2,900,000	2,365,846	534,154	
管理費支出	15,800,000	13,929,599	1,870,401	
人件費支出	4,943,000	5,532,966	△ 589,966	
事務費支出	6,157,000	3,731,033	2,425,967	
社屋費支出	4,700,000	4,665,600	34,400	
事業活動支出計	27,800,000	25,365,014	2,434,986	
事業活動収支差額	4,200,000	6,636,137	△ 2,436,137	
II 投資活動収支の部				
投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
投資活動支出				
固定資産取得支出	0	324,000	△ 324,000	
敷金支出	1,400,000	1,440,000	△ 40,000	
投資活動支出計	1,400,000	1,764,000	△ 364,000	
投資活動収支差額	△ 1,400,000	△ 1,764,000	364,000	
III 財務活動収支の部				
財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	2,800,000	0	2,800,000	
当期収支差額	0	4,872,137	△ 4,872,137	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	4,872,137	△ 4,872,137	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には現金預金、前払費用、未払金、未払費用、預り金を含めている。

なお、当期末残高は、以下2.に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容

(単位：円)

科 目	当期末残高
現金預金	6,016,886
前払費用	777,600
合 計	6,794,486
未払金	156,772
未払費用	1,422,407
預り金	343,170
合 計	1,922,349
次期繰越収支差額	4,872,137

貸借対照表

2016年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	6,016,886
前払費用	777,600
流動資産合計	6,794,486
2 固定資産	
その他固定資産	
建物付属設備	313,146
敷金	1,440,000
その他固定資産合計	1,753,146
固定資産合計	1,753,146
資産合計	8,547,632
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	156,772
未払費用	1,422,407
預り金	343,170
流動負債合計	1,922,349
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	1,922,349
III 正味財産の部	
1 一般正味財産	6,625,283
正味財産合計	6,625,283
負債および正味財産合計	8,547,632

正味財産増減計算書

2015年10月1日から2016年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
経常収益	
受取会費	32,000,000
雑収益	1,151
経常収益計	32,001,151
経常費用	
事業費	11,435,415
人件費	9,069,569
事務費	2,365,846
管理費	13,905,453
人件費	5,532,966
事務費	3,696,033
社屋費	4,665,600
減価償却費	10,854
経常費用計	25,340,868
当期経常増減額	6,660,283
2 経常外増減の部	
経常外収益	0
経常外収益計	0
経常外費用	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	6,660,283
法人税、住民税及び事業税	35,000
当期一般正味財産増減額	6,625,283
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	6,625,283
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	6,625,283

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

減価償却の対象資産は、建物付属設備であり定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物付属設備	324,000	10,854	313,146
合 計	324,000	10,854	313,146

監査報告書

一般社団法人新CAS協議会

代表理事 今井 純 殿

平成28年5月27日

一般社団法人新CAS協議会

監事 北島 直樹

私監事は、平成27年10月1日から平成28年3月31日までの事業年度の業務監査及び会計監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、理事ないし使用人等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受けました。

また、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する書類等の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）について検討いたしました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類の監査結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上